

■ 共同研究班の概要 Summary of the Joint Research Group

班	基盤研究班（C班）
Group Category	Type C Research Projects(Basic Research Projects)
設置期間	2021年4月～2026年3月
Period of Activity	April 2021 – March 2026
研究課題名	ポスト=ヒューマン時代の起点としてのフランス象徴主義
Research Topic	French Symbolism as the Starting Point of the Post-human Era
研究目的の概要 (400字程度)	<p>19世紀を通じて大きな成長をとげた資本主義経済とテクノロジー、識字率の向上と出版・メディアの発展、第三共和政とともに決定的となった世俗化=脱キリスト教化は、社会と人々のメンタリティを決定的に規定すると同時に、こうした事態に対する批評意識を生み出した。フランス象徴主義はその端的な表現である。象徴主義者たちは、ブルジョア社会と産業資本主義に強い嫌悪感を示しているが、貨幣やテクノロジー、同時代の経済社会に対する考察は、その思索の本質的課題のひとつである。また、伝統的な信仰が成立しなくなった時代にあって「超越」との新たな関係が模索される。こうした社会や技術、宗教をめぐる省察を背景として、文学と芸術の新しい方式が、自由詩や内的独白をはじめとする様々な技法上の試みを通して追究されたが、そうした技法的変革も、自己の社会的規定性に対する批評意識によるものである以上、自己自身のあり方の変革を伴うものだった。詩人はたんに作品を書く人間ではなく、作品制作を通して自己の実存を変える者なのである。</p> <p>現在、グローバル経済と金融資本主義が席卷し、新しいテクノロジーが社会を一変させているが、私たちはその恩恵を享受するとともに強い息苦しさを感じてもある。伝統的な信仰は瀕死の状態だが、原理主義や新興宗教が勢いをもち、他方で「世界の終焉」が強く感じられる中で、近代的な「人間」以後の生存のあり方が模索されてもいる。19世紀後半に象徴主義が取り組んだ問題は、今日、こうしたポスト=ヒューマン時代を生きる私たちが直面する課題に通じる。その「起点」として象徴主義を複眼的に捉え直し現代を理解する示唆をえること、これが本研究の目的である。</p>
Summary of Objectives (Approx. 400 characters)	<p>The important factors in 19th century European development—capitalism and technology, literacy rates and publishing, secularization or de-Christianization made decisive with the advent of the Third Republic—not only determined the direction of modern society and public thinking but also created a critical consciousness regarding that situation. French symbolism was its precise expression. Although the symbolists displayed hatred of bourgeois society and industrial capitalism, they regarded technology, finance and economics as essential themes of their reflection. And, in an age when traditional faith had lost its influence, they sought a new relationship with “transcendence.” It is against this background concerning society, technology, and religion that symbolism pursued new modes of literature and the arts through various techniques, such as free verse and internal monologue. However, this technical revolution, because it resulted from a critical consciousness of the socially determined self, was inevitably accompanied by a revolution of the self; a poet is a person who not only writes a piece but changes his/her own existence through such production. Today, new technologies have radically changed the world, and the global economy, together with financial capitalism, dominate it. We enjoy their benefits but, at the same time, we feel greatly suffocated because of them. Although traditional faith is in its death throes, fundamentalisms and new cults are exerting growing influence. Feeling that “the end of the world” is near, we seek a new mode of existence which will come after the “human” in the modern sense. These problems we face in this post-human age share much with those that symbolism tackled in the second half of the 19th century. The purpose of this study is to reconsider symbolism from multiple perspectives as the “starting point” of the post-human era and to posit some suggestions that may allow us to understand our times.</p>
研究会開催予定等	年10回程度 随時
Planned Meetings, etc.	About 10 Times / Year, Irregularly

■ 班員名簿 Member List

最終更新日：2025年7月15日
Last Update: July 15, 2025

No	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 (30字程度)
No	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
1	班長	森本 淳生	所内	・教授	フランス文学	総括。象徴主義と理論
2		菅原 百合絵	所内	・准教授	フランス文学	象徴主義と18世紀文学の検討
3		藤野 志織	所内	・助教	フランス文学	事務局およびシュルレアリスムと象徴主義の関係についての検討
4		村上 祐二	学内（法人内）	文学研究科・教授	フランス文学	象徴主義とドレフュス事件の研究

№	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 (30字程度)
№	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
5		鳥山 定嗣	学内（法人内）	文学研究科・准教授	フランス文学	フランス象徴派詩の詩法（自由詩）を検討
6		藤貫 裕	学内（法人内）	文学研究科・研究員	日本哲学史	九鬼周造を中心とする近現代日本哲学史におけるフランス象徴主義の哲学的受容
7		椎名 隆一	学内（法人内）	文学研究科博士後期課程・大学院生	マグレブ文学	移民文学と象徴主義の関係について
8		西村 真悟	学内（法人内）	文学研究科博士後期課程・大学院生	フランス文学	ウエルベックと象徴主義の関係について
9		上田 泰史	学内（法人内）	人間・環境学研究科・准教授	フランス音楽	フランスロマン主義音楽と象徴主義の関係についての検討
10		中筋 朋	学内（法人内）	人間・環境学研究科・准教授	フランス演劇	象徴主義演劇についての検討
11		山田 広昭	国立大学	東京大学大学院総合文化研究科・名誉教授	フランス文学・思想	象徴主義と政治・アナキズム
12		浜永 和希	国立大学	東京大学大学院人文社会系研究科・助教	フランス文学	ランボーと象徴主義の関係について
13		中田 峻太郎	国立大学	東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程・大学院生	フランス文学・思想	ブランショと象徴主義の関係について
14		中野 知律	国立大学	一橋大学社会学研究科・名誉教授	フランス文学	象徴主義の理念と技法（小説）の検討
15		西村 友樹雄	国立大学	一橋大学言語社会研究科・特別研究員	フランス文学	象徴主義における音楽の位置付け
16		倉方 健作	国立大学	九州大学言語文化研究院・教授	フランス文学	19世紀フランス詩と象徴主義
17		合田 陽祐	国立大学	山形大学大学院社会文化創造研究科・准教授	フランス文学	世紀末の雑誌の検討を通じた、制作集団としての象徴派のエートスの再定義
18		坂巻 康司	国立大学	東北大学大学院国際文化研究科・教授	フランス文学	象徴主義の演劇作品に関するテキスト分析
19		中畑 寛之	国立大学	神戸大学人文学研究科・教授	フランス文学	象徴主義と経済が切り結ぶ問題系（たとえば言語と貨幣）の再検討
20		橋本 知子	国立大学	千葉大学大学院人文科学研究科・准教授	フランス文学	19世紀フランス写実主義文学の検討
21		岡本 夢子	公立大学	滋賀県立大学人間文化学部・専任講師	フランス文学	文学場、詩人グループ、メディア、小雑誌等を担当
22		辻 昌子	公立大学	大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター・研究員	フランス美術	象徴主義とフランス世紀末におけるジャーナリスト作家のスタイルと装飾芸術の関係について
23		久保 昭博	私立大学	関西学院大学文学部・教授	フランス文学	象徴派とモダニズムの関係についての研究
24		松浦 菜美子	私立大学	関西学院大学文学部・准教授	フランス文学	象徴主義と詩法
25		大出 敦	私立大学	慶應義塾大学法学部・教授	フランス文学	象徴主義の宗教との関連の検討
26		原 大地	私立大学	慶應義塾大学商学部・教授	フランス文学	ロマン主義と象徴主義

№	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 (30字程度)
№	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
27		村上 由美	私立大学	慶應義塾大学法学部・講師	フランス文学	象徴主義と演劇の検討
28		野田 農	私立大学	早稲田大学創造理工学部・准教授	フランス文学	エミール・ゾラの小説における象徴主義的傾向と描写の象徴性の検討
29		立花 史	私立大学	早稲田大学・非常勤講師	フランス文学	象徴主義の理論、マラルメとモレアス
30		松村 悠子	私立大学	早稲田大学・非常勤講師	フランス演劇	19世紀フランス演劇と象徴主義の関係の検討
31		浅間 哲平	私立大学	明治大学商学部・講師	フランス文学	ブルーストと象徴主義の関係の検討
32		渡辺 惟央	私立大学	明治大学文学部・講師	フランス文学	カミュと象徴主義の関係の検討
33		足立 和彦	私立大学	名城大学法学部法学科・教授	フランス文学	自然主義小説と小説の関り、とくにモーパッサンについての分析
34		海老根 龍介	私立大学	白百合女子大学・教授	フランス文学	ボードレールと象徴主義の関係について
35		学谷 亮	私立大学	中央大学文学部・准教授	フランス文学	象徴主義の日本における受容
36		熊谷 謙介	私立大学	神奈川大学国際日本学部・教授	フランス文学・表象文化論	象徴主義とジェンダー（ホモソーシャル、独身者等）の関係の検討
37		黒木 朋興	私立大学	上智大学・非常勤講師	フランス音楽	フランス音楽およびドイツ音楽と象徴主義の関係の検討
38		根岸 徹郎	私立大学	専修大学国際コミュニケーション学部・教授	フランス文学	クローデルの演劇と象徴主義
39		福田 裕大	私立大学	近畿大学国際学部・准教授	フランス文学、メディア史	象徴主義とテクノロジー
40		袴田 紘代	独立行政法人 等公的研究機関	西洋美術館・学芸課主任研究員	フランス美術	象徴主義と美術の関係の検討